

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成29年11月10日
【四半期会計期間】	第39期第2四半期（自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日）
【会社名】	株式会社秋川牧園
【英訳名】	AKIKAWA FOODS & FARMS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 秋川 正
【本店の所在の場所】	山口県山口市仁保下郷317番地
【電話番号】	083(929)0630
【事務連絡者氏名】	経営管理部長 原田 良人
【最寄りの連絡場所】	山口県山口市仁保下郷317番地
【電話番号】	083(929)0630
【事務連絡者氏名】	経営管理部長 原田 良人
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第38期 第2四半期連結 累計期間	第39期 第2四半期連結 累計期間	第38期
会計期間	自平成28年4月1日 至平成28年9月30日	自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
売上高 (千円)	2,573,302	2,605,231	5,399,241
経常利益 (千円)	73,823	42,315	142,111
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	50,090	21,247	99,733
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	50,460	23,192	114,455
純資産額 (千円)	1,435,937	1,500,828	1,499,735
総資産額 (千円)	4,102,105	4,677,551	4,482,472
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	12.01	5.10	23.91
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	35.0	32.1	33.5
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	120,225	5,367	413,578
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	237,298	425,139	539,139
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	134,179	182,452	85,483
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	607,908	581,763	819,083

回次	第38期 第2四半期連結 会計期間	第39期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成28年7月1日 至平成28年9月30日	自平成29年7月1日 至平成29年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	2.97	3.67

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）におけるわが国の経済は、政府の経済政策、日銀の金融政策の効果が下支えするなかで、緩やかな回復基調で推移してまいりました。しかしながら、国内における人手不足の深刻化、中国を始めとする新興国経済の動向、米国の政権運営及び北朝鮮情勢への懸念等から、先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、個人消費が伸び悩むなど依然として厳しい環境にありますが、高齢化が進む中での健康意識の高まりもあり、消費者の食の安心・安全に対する関心は年々高くなっております。

このような状況の中、主力の鶏肉の販売は前年並みに推移し、また全国向けの宅配の販売が首都圏を中心に伸長したこと等から、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、飼料原料価格の値上がりや間接部門における販売費および一般管理費の増加等により減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、26億5百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は11百万円（前年同期比82.9%減）、経常利益は42百万円（前年同期比42.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21百万円（前年同期比57.6%減）となりました。前年同期に対して利益が下回っていますが、業績予想に対しては概ね順調に推移しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（生産卸売事業）

生産卸売事業につきましては、冷凍加工食品の販売は若干減少しましたが、乳製品等の販売が増加したため、売上高は前年並みとなりました。利益面につきましては、飼料原料価格が前年同期と比較して割高になったことや、鶏卵生産における生産性の低下等の影響により減益となりました。

この結果、生産卸売事業の売上高は、20億31百万円（前年同期比0.0%増）、営業利益は1億71百万円（前年同期比19.6%減）となりました。

（直販事業）

当社の食品を中心に会員宅に商品をお届けする直販事業につきましては、全国向けの宅配の販売が首都圏を中心に伸長したことや、通販事業を行う会社向けの販売効果により売上高は増加いたしました。利益面につきましては、売上高は増加したものの粗利率の低下やピッキング費用等の販売費及び一般管理費の増加により、前期並みとなりました。

この結果、直販事業の売上高は、5億74百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は3百万円（前年同期比11.7%減）となりました。

(2)財政状態の分析

（流動資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、19億83百万円（前連結会計年度末は20億18百万円）となり、前連結会計年度末と比べ35百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少（2億37百万円）によるものであります。

（固定資産）

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、26億93百万円（前連結会計年度末は24億63百万円）となり、前連結会計年度末と比べ2億30百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産の増加（2億38百万円）によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、17億28百万円(前連結会計年度末は17億64百万円)となり、前連結会計年度末と比べ36百万円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等の減少(25百万円)によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、14億48百万円(前連結会計年度末は12億18百万円)となり、前連結会計年度末と比べ2億30百万円増加いたしました。主な要因は、長期借入金の増加(2億22百万円)によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、15億円(前連結会計年度末は14億99百万円)となり、前連結会計年度末と比べ1百万円増加いたしました。

(3)キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益が38百万円(前年同期は74百万円)となり、長期借入れによる収入(3億6百万円)、減価償却費(1億62百万円)等から、有形固定資産の取得による支出(4億29百万円)、たな卸資産の増加(1億75百万円)等により前連結会計年度末に比べ2億37百万円減少し、5億81百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は5百万円(前年同期は1億20百万円の獲得)になりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益(38百万円)に対して、減価償却費(1億62百万円)、賞与引当金の増加(21百万円)等から、たな卸資産の増加(1億75百万円)、法人税等の支払額(34百万円)等を控除した結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4億25百万円(前年同期は2億37百万円の使用)になりました。

これは主として、有形固定資産の売却による収入(2百万円)等から、有形固定資産の取得による支出(4億29百万円)等を控除した結果によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は1億82百万円(前年同期は1億34百万円の使用)になりました。

これは主として、長期借入れによる収入(3億6百万円)から、長期借入金の返済による支出(96百万円)、配当金の支払額(20百万円)等を控除した結果によるものであります。

(4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5)研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、23,824千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成29年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成29年11月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,179,000	4,179,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	4,179,000	4,179,000	-	-

(注)平成29年10月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更しております。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高(千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成29年7月1日~ 平成29年9月30日	-	4,179	-	714,150	-	381,030

(6) 【大株主の状況】

平成29年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
秋川 正	山口県山口市	1,135	27.2
秋川 實	山口県山口市	431	10.3
秋川牧園職員持株会	山口県山口市仁保下郷317	359	8.6
(株)山口銀行	山口県下関市竹崎町4丁目2-36	200	4.8
秋川 喜代子	山口県山口市	154	3.7
秋川 寿子	千葉県印西市	129	3.1
山口県信用農業協同組合連合会	山口県山口市小郡下郷2139	120	2.9
伊藤忠飼料(株)	東京都江東区亀戸2丁目35-13	106	2.5
秋川 茂	山口県防府市	69	1.6
中村 昌子	山口県山口市	55	1.3
計	-	2,759	66.0

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 9,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,162,000	4,162	-
単元未満株式	普通株式 8,000	-	-
発行済株式総数	4,179,000	-	-
総株主の議決権	-	4,162	-

【自己株式等】

平成29年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)秋川牧園	山口県山口市仁保下郷317	9,000	-	9,000	0.22
計	-	9,000	-	9,000	0.22

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成29年7月1日から平成29年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、西日本監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	819,083	581,763
受取手形及び売掛金	625,929	638,175
商品及び製品	142,428	256,054
仕掛品	167,231	232,267
原材料及び貯蔵品	79,468	75,889
繰延税金資産	34,428	29,800
未収入金	132,344	147,299
その他	20,266	24,509
貸倒引当金	2,255	2,127
流動資産合計	2,018,925	1,983,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	775,785	862,820
機械装置及び運搬具(純額)	353,985	392,213
土地	956,966	957,996
建設仮勘定	81,322	190,241
その他(純額)	97,055	100,511
有形固定資産合計	2,265,116	2,503,783
無形固定資産		
のれん	30,707	28,882
その他	50,193	44,126
無形固定資産合計	80,900	73,008
投資その他の資産	1,117,529	1,117,123
固定資産合計	2,463,546	2,693,916
資産合計	4,482,472	4,677,551
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	409,634	424,323
短期借入金	961,171	947,551
リース債務	7,698	5,147
未払法人税等	47,508	21,735
賞与引当金	34,565	56,051
その他	303,857	273,238
流動負債合計	1,764,436	1,728,048
固定負債		
長期借入金	891,201	1,114,199
リース債務	24,109	21,622

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
繰延税金負債	17,129	15,488
退職給付に係る負債	234,686	244,617
役員退職慰労引当金	51,173	52,747
固定負債合計	1,218,300	1,448,674
負債合計	2,982,736	3,176,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	553,441	553,441
利益剰余金	210,354	210,746
自己株式	4,579	5,823
株主資本合計	1,473,367	1,472,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,368	28,031
その他の包括利益累計額合計	26,368	28,031
非支配株主持分	-	281
純資産合計	1,499,735	1,500,828
負債純資産合計	4,482,472	4,677,551

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,573,302	2,605,231
売上原価	1,900,037	1,953,559
売上総利益	673,264	651,672
販売費及び一般管理費	1,603,326	1,639,733
営業利益	69,938	11,939
営業外収益		
受取利息	127	57
受取配当金	838	531
補填金収入	1,899	9,356
補助金収入	2,704	2,210
保険返戻金	-	18,111
その他	4,679	5,903
営業外収益合計	10,249	36,170
営業外費用		
支払利息	6,275	5,775
その他	88	18
営業外費用合計	6,363	5,793
経常利益	73,823	42,315
特別利益		
固定資産売却益	2,100	705
補助金収入	11,000	-
特別利益合計	13,100	705
特別損失		
固定資産売却損	230	931
固定資産除却損	953	3,253
固定資産圧縮損	11,000	-
特別損失合計	12,184	4,184
税金等調整前四半期純利益	74,739	38,835
法人税、住民税及び事業税	23,878	15,049
法人税等調整額	662	2,256
法人税等合計	24,541	17,306
四半期純利益	50,198	21,529
非支配株主に帰属する四半期純利益	108	281
親会社株主に帰属する四半期純利益	50,090	21,247

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	50,198	21,529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	261	1,663
その他の包括利益合計	261	1,663
四半期包括利益	50,460	23,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,351	22,911
非支配株主に係る四半期包括利益	108	281

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	74,739	38,835
減価償却費	148,353	162,853
のれん償却額	1,824	1,824
貸倒引当金の増減額(は減少)	139	158
賞与引当金の増減額(は減少)	2,305	21,486
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	4,325	9,930
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,033	1,574
受取利息及び受取配当金	966	588
支払利息	6,275	5,775
有形固定資産売却損益(は益)	1,869	226
有形固定資産除却損	953	3,253
売上債権の増減額(は増加)	8,943	12,245
たな卸資産の増減額(は増加)	30,894	175,083
未収入金の増減額(は増加)	39,736	14,955
仕入債務の増減額(は減少)	25,338	14,689
補助金収入	11,000	-
固定資産圧縮損	11,000	-
その他	40,424	12,406
小計	143,174	45,328
利息及び配当金の受取額	966	588
利息の支払額	6,284	5,596
補助金の受取額	11,000	-
法人税等の支払額	28,631	34,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	120,225	5,367
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	228,681	429,470
有形固定資産の売却による収入	3,603	2,917
投資有価証券の取得による支出	10,127	-
貸付けによる支出	2,210	410
貸付金の回収による収入	6,621	2,622
ソフトウェアの取得による支出	6,407	2,623
その他	97	1,824
投資活動によるキャッシュ・フロー	237,298	425,139

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	306,000
長期借入金の返済による支出	100,961	96,622
配当金の支払額	16,460	20,643
リース債務の返済による支出	16,758	5,038
自己株式の取得による支出	-	1,244
財務活動によるキャッシュ・フロー	134,179	182,452
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	251,253	237,319
現金及び現金同等物の期首残高	859,161	819,083
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,110,414	1,056,402

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
投資その他の資産	42千円	328千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
運賃	167,141千円	177,950千円
給与手当	147,324	151,268
賞与引当金繰入額	15,331	23,766
退職給付費用	6,205	6,597
役員退職慰労引当金繰入額	2,033	1,574

2 当社グループの主たる事業では、鍋シーズンやクリスマスなどの冬季に、鶏肉製品が集中して受注を受けるため、第3四半期連結会計期間の売上高は他の四半期連結会計期間の売上高と比べ著しく高くなるという季節的変動があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
現金及び預金勘定	607,908千円	581,763千円
現金及び現金同等物	607,908	581,763

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月28日 定時株主総会	普通株式	16,685	4	平成28年3月31日	平成28年6月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月27日 定時株主総会	普通株式	20,855	5	平成29年3月31日	平成29年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	2,030,450	542,852	2,573,302
セグメント間の内部売上高 又は振替高	159,585	864	160,449
計	2,190,035	543,716	2,733,752
セグメント利益	213,779	3,741	217,521

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	217,521
のれんの償却額	1,824
全社費用(注)	145,758
四半期連結損益計算書の営業利益	69,938

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	2,031,071	574,160	2,605,231
セグメント間の内部売上高 又は振替高	160,978	1,399	162,377
計	2,192,049	575,559	2,767,609
セグメント利益	171,956	3,302	175,259

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	175,259
のれんの償却額	1,824
全社費用(注)	161,496
四半期連結損益計算書の営業利益	11,939

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	12円01銭	5円10銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	50,090	21,247
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	50,090	21,247
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,171	4,169

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年11月8日

株式会社秋川牧園

取締役会 御中

西日本監査法人

代表社員
業務執行社員

公認会計士

梶田 滋 印

業務執行社員

公認会計士

山内 重樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社秋川牧園の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成29年7月1日から平成29年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社秋川牧園及び連結子会社の平成29年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。